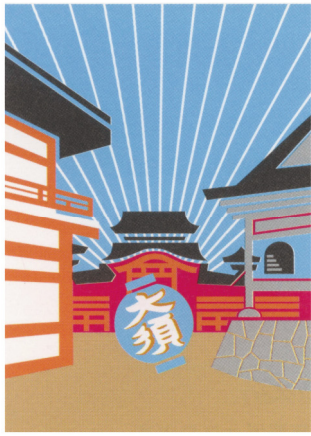




＜本年度クラブ会長方針＞

変わる勇気と変える勇気を持ち、
和の心でロータリーの輪を広げよう！

承認 1985年2月12日 会長 飯田昭夫 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
例会日 木曜日 12時30分 幹事 木村吉伸 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
例会場 名古屋東急ホテル URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第1965回例会

職業奉仕月間

令和7年1月30日(木)

卓話

於 名古屋東急ホテル

会員 61名

出席計算数

53名中 41名出席

出席率 77・36%

前々回出席率 84・21%

例会プログラム

★米山記念奨学会表彰

★卓話

「ロータリーソング」

「大須ロータリーソング」

指揮者 松本 哲朗

ピアノ伴奏 富板 玲子

「ニコボックス」

伊藤宗宏さん松本哲朗さん卓話よろしくお願ひします。

飯田 昭夫・横井 衛

杉本 忠夫・内藤 啓喜

西脇 良輔・西垣亜矢子

伊藤さん松本さん楽しみにしています。よろしくお願ひします。

木村 吉伸

孫が都道府県全国大会5区で区間新記録を出しチームも大会新記録で優勝しました。

佐々木 功

伊藤さん・松本さん卓話楽しみです。

鬼頭 茂成

伊藤さん・松本さんお話し楽しみです。

近藤 明美

伊藤さん・松本さん卓話楽しみにしています！

林 順治

野沢温泉スキー場積雪260cmで快適な滑りをしてきました。

吉田 隆彦

誕生月です。敬老パス、いただきます。

岡村 隆徳

会長挨拶

皆さんこんにちは！ 本日は、身近な商品で、特許の話をします。

フリクションボールペン開発の話です。名古屋のバイロットインキ

株が開発しました。少し面白くアレンジしています。フリクション

ボールペンの特徴は書いた文字をこするとその熱で消え、また冷蔵庫

庫に入れて冷やすと復活することに特徴があります。未だ同じ性能

のボールペンは世界で生まれていません。

この原点は、筆記具の開発チームではないところで1975年に開発された「温度により色変わりがするメタモインキ」です。通常

のインキと異なり発色剤と発色させる変色成分の温度調整剤を1つの

マイクログラフセルに封じ込めた顔料

温度により色が変わるインキの開発に成功 1975年 特許出願 メタモインキ

色変化を夢の商品開発へ

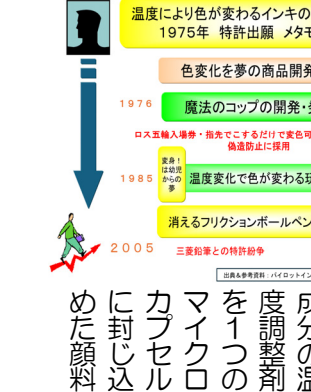
1976 魔法のコップの開発・発売

ロス五輸入増税・販売でこすだけで変色可能なメタモインキ 偽造防止に採用

1985 温度変化で色が変わる玩具

消えるフリクションボールペンの誕生

2005 三菱鉛筆との特許紛争



です。最初のメタモインキは変色温度の幅が狭くマイクログラフセルも大きかったため、短時間で変色することから始まりました。ヒット

したのが、日本ではメルちゃん人形です。その後、マイクログラフセルを微小且つ均一にする研究が継続されましたが難しく、変色温度の幅を80度以上に広げること成功するまでに20年かかりました。

その間、色変化を伴う商品開発に関連した発明の特許出願が多数なされました。

2005年に消えるボールペンが誕生し、先ずフランスで販売され、大好評を得ました。日本では翌年の販売となりました。当然のことながら他社が類似品の開発を

しましたが、フリクションのよう

にきれいに消えるその状態を長期維持できるインキは出現しませんでした。特許公報で成分は公開されましたが、バイロットインキは重要なポイントは営業秘密にして開

示していませんので、同じようにきれいに消えるものは未だ世の中に

出ていません。無印良品で売られている商品はバイロットインキのOEMボールペンです。完全に

知財で保護されています。

良い製品を維持するためには改良を加えながら特許出願を継続することが必要な例です。ありがと

うございました。

新会員卓話

「歴史と信頼を守り、新たな道を拓く」私の企業経営

伊藤 宗宏

皆さん、こんにちは。昨年9月に入会いたしました伊藤宗宏です。

本日は、お忙しい中、私の卓話に時間をいただき、心より感謝申し上げます。本日お話しするテーマ

は「歴史と信頼を守り、新たな道を拓く」私の企業経営です。私がこの歴史ある大須ロータリーに縁をいただいたのは、加藤巳彦様のご紹介でした。改めて、この

場を借りてお礼申し上げます。私は大須で生まれ育ち、子どもの頃から商店街を遊び場としてきました。「人情」「にぎわい」「温かさ」大須特有の雰囲気は、私にとって「当たり前の風景」でしたが、それがどれほど恵まれたことだったのか、大人になってから改めて気づかされました。

今、こうして大須ロータリーの

一員として活動させていただけることを、大変光栄に感じています。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話

させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

本日は、その感謝の気持ちを含めて、私自身の生い立ちや経営における学び、大切にしている経営の考え方、そして未来への展望をお話させていただきます。

1972年、名古屋市大須で生

私が代表を務める神谷ベルト株

創業当時はまだモノが不

「このつながりを大切にする」経営

受け継がれる想いの大切さを実感

会社は、ゴム・プラスチックの総

創業当時はまだモノが不

3つ目の柱である『現場施工』に

4つ目の柱である『ハンドフー

お客様の負担を軽減できるように

以上が、4つのサービスに関する

「これら4つの事業を柱として

4つ目の事業であるハンドフー

そんな中、私が27歳の時に初め

知らないし、何もできないくせ

そして2004年 私は三恵工

しかし、ただ会社を引き継ぐた

そして2022年6月には神谷

と確立してきました。

1. 通信事業の起業では、ゼロから価値を生み出す「創造力と行動力」を学びました。

スピード感を持ち、変化する顧客ニーズに柔軟に対応することの重要性を実感しました。また、事業を成長させるためには、時代の先端を見据え、常に新しい価値を提供し続けることが不可欠であると学びました。

2. 株式会社三恵の再建(現三恵工場)では「経営の安定化と独自性の確立」の重要性を学びました。

不確実な要素を「コントロール」し安定した事業運営を実現するためには、経営リスクを徹底的に排除し、持続可能な経営を追求することが不可欠です。また、競争力を高めるには、他社にはない独自の強みや価値を生み出すことが求められます。そして、現場の声を経営に活かすことで、組織全体の成長につながることを改めて実感しました。

3. 神谷バルト株式会社では歴史と信頼は企業の最大の財産であることを改めて実感しました。

しかし、それだけでは成長を続けることはできず、変化への適応と挑戦が不可欠であることも実感しています。だからこそ、神谷バルトは「伝統を守る責任感」と「新たな道を切り拓く革新の精神」を大切にしながら、企業の成長を支え、未来へとつなげてまいります。

『歴史と信頼を守り、新たな道を拓く』これが私の経営スタイルであり、人生を通じてのテーマです。

最後に皆さんにお伝えしたいのは、どんな困難な状況であっても自分を信じて、一歩ずつ前に進めば、必ず未来は開けるということです。私はこれまで多くの方々に支えられ学び、そして挑戦する喜びを知りました。その恩返しとして、神谷バルトを通じて社会へ貢献していきたいと考えています。本日は貴重なお時間を頂き、誠にありがとうございました。

「会員卓話」

松本 哲朗

「職業分類」

職業分類「自転車輸出(Bicycles export)」としておりますが現在その仕事はしていません。

今から32年前の入会時に職業分類名は何にしますかと言われ貿易業ですと言ったところ、今は退会された神田憲さんが「外国貿易」という分類名で、当時はまだ1業種1名という縛りがあり同じはダメでした。

それよりも父親が名古屋中RCのメンバーだったので、どういう職業名かと聞いたところ「自転車輸出」のところで同じ会社なので、すんなり同じ分類名になりました。会社はオックス貿易株式会社と言い、創業者は父親の松本眞佐雄です。昭和32年創業、会社設立が



半年後の33年、今期が67期になります。父親の前職は中川区にあった日帝工業(株)でメ

ヤム号という自転車のメーカーでした。そこで輸出部門

を作り、その後独立しますがオックスフォードジャパン商会というのが最初の社名でした。自転車の輸出専門商社というのも関西、名古屋、東京に何社もあり、今は消滅しましたが日本自転車輸出組合という組合があり、部品メーカー、完成車メーカーで60社ほどで構成されていました。

自転車産業というところの自動車と同じで部品ごとにメーカーが分かれており車輪を見てハブ、スポーク、リム、タイヤチューブとそれぞれメーカーが異なっており、それぞれが何社かありました。我々輸出業者は完成車というより各部品を相手国の自転車メーカーやアフターマーケット用に輸入業者に輸出するのが仕事です。

プリジストン、ミヤタなどの完成車メーカーもフレーム材料を溶接、塗装して各パーツはパーツメーカーから取り寄せ組上げて完成車にします。名古屋にも自転車部品から始まり大きくなったメーカーもあります。自転車部品メーカーは江戸時代の鉄砲鍛冶の流れで大阪の堺に多かったです。中でも(株)シマノですがシマノという一般の方には釣り具で名前が知れていますが、もとは自転車部品の会社です。部品なので目立ちませんがママチャリの3段変速ハブでも、スポーティの3段変速ハブでも、スポーツタイプの外装何段という変速機でもみんなシマノのものが付いていいますので見てみてください。フリーホイールなどのギアを作るのが得意で、そこから魚釣りのリールを始めております。年商3,000億から4,000億で変速機では世界的シェア70%ほど占め、自転車業界では世界一の会社です。貿易業者にとって為替が一番大事ですが、1949年から固定相場制で1USDが360円、1971年8月のG10がワシントンDCのスミソニアン博物館で行われ308円となり1973年からはいよいよ変動相場制となりさらなるドル高是正のため1985年ブルザ合意が行われその当時250円前後だったものが3年後に120円に急激な円高進みました。輸出商社は注文をもらって商品を発注してから船積みまでに1か

月や2ヶ月は掛かり、その間に円高が進んでいくので予約をするとかいろんな工夫をして何とかしのいできました。輸出に頼っていたような部品メーカーは国内向けに自転車以外の商品開発をするとか、廃業して工場跡地をマンションにするところも多々ありました。その間自転車の生産国自体も日本から台湾に移りの「V-N」など有名完成車メーカーができましたがその後中国に移り今は大半が中国製になっています。

弊社も輸出ばかりではなく輸入を始めますが、自転車ではなくエアロバイク、トレッドミル、ローイングマシンなど家庭用のものの輸入卸をはじめ、学校体育用品メーカーとのつながりでフィットネス用品、トレーニング用品などの小物も扱う輸入卸となります。

その後インターネットが盛んになってくるとネットで小売りをすることをはじめ、扱ひ商品は自社で輸入するものに加え何社がある取引先の商品を載せて今年で楽天をやりました。21年になりますがアマゾンとの2本柱で小売業が主になっています。

時代の波に逆らわないようにしていたら会社の業務内容がかわっていききました。ロータリーにあと何年在籍できるかわかりませんが入会当時の職業名で終わりたいと思っています。

■米山記念奨学会表彰状の進呈
・第2回米山功労者（マルチブル）

松本 哲朗さん



その他・お知らせ



派遣青少年交換学生
マンスリーレポート（1月）

青少年交換学生 渡辺 唯加

（ワウルフ／ベルギー）

お久しぶりです。第二ホストファミリーに変わってからもう約一か月経ったなんて信じられませぬ。一月は新しい環境、新しい学校、新しい人々など新しいことの連続でした。今のホストファミリーは料理がとても得意で、毎日毎日、今まで食べたことがなかった異国の料理を出してくれます。最近食べた



たので良かった。

中で特に私のお気に入りだったのは、中華風の焼きそばとチリコンカンです！新しい環境に慣れるまでに時間がかかる私は、ストレスで食事のどを通らなくなることもあるのですが、今回はそんなことはまったくなく、毎日おかわりしてしまつほどたくさん食べています。ホストマザーはちょうと三十年前にメキシコに行った留学生だったそうで、留学の難しさなどを知っているため、私からするといろいろなことを相談しやすくてありがたいです。

バカンスが明けたことによつて一番難しかったのは、やはり学校が再開することでした。言語習得状況については、もちろん最初の月に比べれば日常会話などはそつなくこなせていると自分でも実感がありますが、まだまだ難しい話題や日本とベルギーの政治体制について議論をすること、理解することは困難な状況に今はあります。ですので、学校の授業なども私にとってはとても難しく、それによ

つたです。
三日には、同じクラブのコロナビア人・ブラジル人とコロナビア人のホストファミリーと一緒に雪を見にLibramontへ行きました。南アメリカ出身の二人は今まで雪を見たことがないらしく、初めて見るたくさん雪に感動していました。私もこんなにも積もったサラサラな雪は初めて見たので、絶対に忘れないようにたくさんさんの写真を撮りました。
その次の日には、ホストファミリーと一緒にオステンドまでいってここに会ったOostendeまで車で行きました。Oostendeは海が近くにあるフランドレン地域で、そこに住むほとんどの人はとてもお金持ちでオランダ語を話します。今のホストファミリーには大きな大が一匹いるので、その子も一緒に来て、海岸をたくさん歩きました。ベルギーの海岸にはいたるところに牡蠣やムール貝の殻が散らばっていて、日本とは全く違った光景でも面白いです。
それに私はまだ見たことがないので、あるLibboursはOostendeでアザラシの群れを見たそうです。私もいつか見てみたいですね。夜にはいとこさんと一緒にGabbresbosを食べました！カトリックの祝日である公現祭（一月六日）に、家族で切り分けて食べ、ケーキの中に入っているフェーウと呼ばれる小さな



でも嬉しかったです。
11日は、アメリカに行っていたホストシスターを空港までお迎えに行きました。ホストシスターは現在大学生で、大学のプログラムの一環として、アメリカで約三か月生活をしていました。空港へ行くのは到着日以来だったので、初日のことを思い出して少しノスタルジックな気分になりました。それまでどんな人なのか見たことも聞いたこともなかったため、心配と楽しみが五分五分でしたが、実際に会ってみるととてもやさしくしゃべるのが上手で仲良くなることができましたのでとても安心

陶器を当てた人は、幸運が一年間続くとわかっています。今回は四人で切り分けて食べたので、誰にあたったのかなかなかわからずもやもやしていましたが、食べ進めていくと明らかにケーキの色ではない固い物体が見え、取り出してみるとなんと狐の形をしたフエウでした！なぜかホストファミリーもとても喜んでくれて、とても嬉しかったです。



しました。実際に今でも困ったことがあるとすぐに助けてくれます。一月後半は、ホストファミリーと一緒に米からお餅を作ったり、ほかのLibboursの家にお泊りしに行ったりしました。正直、楽しいことはかなりではなく、語学学校をまた一から探さることになったり、他の留学生との言語習得率の差を身に染みて感じたりといろいろありましたが、ホストファミリーやたくさんの方のおかげで何とか楽しいといえる一か月を過ごすことができました。私はこの一か月で二回も風邪になったので、皆様も体調にはお気を付けてお過ごしください。

公共イメージ向上委員会

横川 誠人
深谷 昭広・小笠原和俊
小澤 幸男・黒岩 麗子
*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。